



CCU 専任薬剤師
石井 志保

病院薬剤師ってどんなことをしているの？

患者さんとの会話の中で「病院の中に薬剤師さんがいるの？」と聞かれることがあります。私たちは、お薬の調剤や注射の混合はもちろん入院中の患者さんにお会いし、お薬の説明や副作用対策の指導を通して常用薬や入院後の治療薬が**安全かつ適正に使用されているか確認**をしています。問題があれば、医師や看護師等へ情報共有しながら患者さんの治療に携わっていますので、お薬についてご相談があれば薬剤師にお声かけ下さい。



病院薬剤師はアンサング・シンデレラ!?

みなさん、アンサング・シンデレラをご存じですか？病院薬剤師を題材にした漫画で、ドラマ化されており、薬剤師業界では、ちょっとした話題になっています。「アンサング (unsung)」とは、「たたえられない、知られざる」という意味で、意識すると「縁の下の力持ち」という意味のようです。

私が担当している**Cardiac Care Unit (以下, CCU)**は、薬はもちろん人工呼吸器や人工心肺装置といった医療機器を使用する、重度の循環器疾患の患者さんに対して集中治療を行う高度救急救命センターです。

そのような中で薬剤師の業務は多岐にわたります。例えば、心臓の手術後では、昇圧薬、抗凝固薬など10種類以上の注射薬を同時に投与する事があります。注射ライン（注射薬を投与する経路や血管）には限りがあり、薬の組み合わせによっては、本来の薬効が得られなくなってしまう場合もあります。注射薬を安全かつ有効に投与できるような組み合わせを考えて医師や看護師へ情報提供をしています。

情報共有の場として、CCUでは多職種カンファレンスを実施しています。以前、複数の病気で、それぞれ別の医療機関へかかり、その結果薬の数が増えて薬を中断してしまった患者さんがいました。薬の種類が多いこと、家族が近隣におらず支援できる体制が整っていないことが問題に挙げられました。医師を中心に、一包化（薬を1つの袋にまとめる調剤方法）へ変更するなど薬の見直しは**薬剤師**、家族のサポートは**看護師**、訪問介護など公的サービスは**ソーシャルワーカー**、自立支援は**理学療法士**、とそれぞれの専門性を生かし、通院でもきちんと治療ができるように環境を整え、早期に退院することができました。医療の前面に立って活躍する機会は少ないかもしれませんが、患者さんの治療にチームとして協働している日常は、まさにアンサング・シンデレラかもしれません。



最後に



私は、病院には薬剤師が活躍できる場が数多くあると思います。効能効果、用法用量、副作用、剤形、相互作用などの薬の情報を基に、患者さんに適切な薬を適切な形で安全に提供すること、これが薬剤師の仕事だと考えています。医療チームの一員として、何ができるかを考え、より良い医療を提供できるよう日々努力しています。それを実現できるのが「さいたま赤十字病院」であり、病院薬剤師が所属している「薬剤部」だと思います。